



の全長は一千六百二十呎、有効幅員十七呎九四分ノ三吋、徑間長さ百八十七呎、經間八連である。本橋竣工式は客年十一月十三日午前十一時其の橋畔に盛大に舉行され北國の常たる雲り日も當日は天氣清朗にして其の竣工を祝ふ無慮數千の群衆の歡喜に迎へられ知事以下縣關係者並多數來賓參列せり。

### ◎山形縣村山橋竣工式

山形縣東村山郡天童町と西村山郡寒河江町を結ぶ府縣道天童寒河江線中東北一を誇る村山橋は客年三月九日工を起し本年三月一日完成の豫定のところ縣當局の指揮監督のよろしきと工事請負者の熟練したる技能とにより工程を約三ヶ月間短縮して同年十二月十日美事に竣工したるは山形縣

#### 式辭

式は型の如く初められ達田知事の式辭兒玉土木課長の工事工程報告内務大臣祝辭（新居事務官代讀）に引き續き縣會議長、地元町村長總代、本會會長水野鍊太郎氏（都築幹事代讀）の祝辭ありて正午嚴肅裡に閉會した。

本橋開通に際し山形縣知事の式辭及土木課長工程報告並内務大臣本會會長の祝辭は左の如くである。（佐野生）

土木事業界に一大記録を残したものであり而も山形縣殊に村山大平野の産業交通網に新紀元を劃したる名橋として永遠に當地方の誇となるであろう。村山橋は總工費四十九萬七千六百八十八圓を投じた「ワーレン」式鋼橋である。橋

村山橋改築其ノ功ヲ歎ハリ茲ニ渡橋ノ式典ヲ舉行スルニ方リ多數來賓ノ貴臨ヲ辱ウシタルハ洵ニ光榮トスル所ナリ。本縣義ニ交通政策ヲ調査シ道路改修計畫ヲ樹立シ國府縣道中重要ナル幹線道路ノ改修ト腐朽最モ甚タシキ橋梁ノ架換ヲ行ヒ以テ現代交通ノ要求ニ應スルコト企畫シ昭和三年度ヨリ十ヶ年

繼續事業トシテ工費總額九百五十一萬七千圓ノ繼續年期支出方

法ヲ設定シ縣會ノ協賛ヲ得タリ而シテ之カ計畫ノ一部トシテ先

ツ村山橋ノ架換ニ着手シ爾來十閱月ニシテ今ヤ全ク其ノ功ナ竣

ヘタリ。

新橋ハ河川ノ情勢ト時代ノ要望下ニ鑑ミ永久的構築ノ必要ナ認

メ鐵橋ニ架換ヘタルヲ以テ將來交通運輸上萬遺憾ナキヲ信ス而

シテ本橋ノ改築ニ依リ一層地方產業ノ進展並ニ文化ノ向上ヲ促

進スルニ至ルヘク縣民福利ノ増進上潤ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ。

昭和四年十二月十三日

山形縣知事　塙　田　治　輔

### ■　事　報

村山橋ハ府縣道天童寒河江線最上川ニ架設シ舊橋ハ明治三十五

年架設ノ木橋ニシテ經年ノ久シキ爲腐朽ニ傾キタルヲ以テ改築

ノ計劃ヲ樹テ本年三月工事ノ請負ヲ契約シ爾來十閱月ニシテ本

月十日竣工シタリ工事ノ詳細ハ別冊工事要綱ニ譲リ之ヲ省略ス

ルモ要スルニ設計ハ河川ノ實狀ト將來ノ改修ニ鑑ミ基礎工事ニ

半乎ヲ期シ且現代交通ノ要求ニ應シタルモノニシテ恐ラク橋齡

ハ百年不易ニ庶幾ランカ。

尙工事ノ施行ニ方リ地方各位ノ多大ナル援助ト工事請負人並ニ

監督員ノ勵精トニ依リ豫定ノ結果ヲ收ムルヲ得タルハ洵ニ其ノ

勞チ多トスル所ナリ。

茲ニ竣工式ヲ舉クルニ當リ工事ノ概況ヲ報告ス。

昭和四年十二月十三日

山形縣土木課長　兒　玉　靜　雄

### 祝　辭

村山橋架設功ヲ竣ヘ茲ニ本日ヲ以テ落成式ヲ舉ケラル寔ニ欣慶ニ堪ヘサル所ナリ

本橋ハ府縣道天童寒河江線ニ架設セラレ地方交通上極メテ重要ナル地點ヲ占ムルニ不拘舊橋ハ遠ク明治三十五年ノ架設ニ係リ

テ腐朽既ニ甚シク交通上支障ヲ感スルコト久シカリキ今堅牢宏

壯ナル新橋ノ架設成ルヲ見ル工費要スル所費ニ五十有餘萬圓其

ノ負擔ヲ輕カラサルモノアリト雖今後之ニ依リテ交通上ノ利便

ヲ進メ地方產業ノ開發ニ資スル所大ナルモノアルヲ疑ハス冀ク

ハ將來之カ維持管理ニ力ヲ致シ以テ長ヘニ其ノ利用ヲ完フセラ

レントコトヲ一言所懷ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和四年十二月十三日

内務大臣　安　達　謙　藏

### 祝　辭

府縣道天童寒河江線村山橋功ヲ竣ヘ本日茲ニ開通ノ式典ヲ舉ケ

テモ交通機關ノ整否ハ國運ノ隆替民人ノ消長ニ至大ナル關係ヲ

有ス就中輓近自動車運輸ノ發達ト相俟テ道路橋梁ノ改良ハ刻下

緊要ノ事業ナリ今節チ精巧雄大ナル本橋ノ成ルチ見邦家ノ爲欣幸ニ堪ヘス

念フニ之ニ依リテ天童寒河江間ノ交通圓滑ナ致スベキハ勿論廣ク國家經濟ノ進展ニ寄與スル所大ナルベキチ信ス冀クハ將來維持管理ニ努メ以テ長ニ其ノ効果ヲ完カラシメンコトナ一言述ヘ

テ祝辭トス

昭和四年十二月十三日

道路改良會々長 水野 錦太郎

### ◎理 事 會

十二月二十三日午後五時日本俱樂部に於て、内田副會長

(支那より)、中川理事(米國より)歸朝歡迎を兼ね理事會

を開く、定刻水野會長をはじめ三邊、山田兩常務、長岡、

廣瀬、牧、寛、清水、都筑、小島各理事幹事參集、都筑幹

事より全國道路功勞者顯彰の件に關して説明あり、九十餘

名の模範修路工夫表彰に就ては之を決定し、特別功勞者表

彰に就ては未報告府縣の分もある事とて其の報告到着を待

ちて再審に決し、次で小島幹事より滋賀縣支部會費に就て

説明し、審議の末同縣支部より調査材料の提出を求め再審

するに決して理事會を終り、中川理事の米國視察談に入り

次で晩餐と共にし、會長より歡迎の挨拶あり之に對し内田

副會長謝辭を說べ一同乾盃、別室に移り支那最近の交通狀況に就て、内田副會長より大要左記の順序により講話あり

午後十時散會せり。(都筑幹事)

### 内田副會長視察談概要

釜山から大邱までの蔚山、惠州などは道路も相當宜しく自動車で走つても些の凹凸感を覺えなかつた、それと同時に砂防や植林も進むて來たのは眞に喜ぶべきことである、併かし途中の橋

梁が殆んど改良されて居らるのは甚だ遺憾である。大邱から汽車で京城に至りましたが汽車も道路も誠に氣持よく整つて來た

やうです、京城で博覽會を見たところ金剛山觀光欲が出て二日

許りで行きましたが乗合自動車が出來て非常に便利になつて居ります、最近は長安寺まで電車も通すべき筈でありました、京

城を夜出發して翌朝安東に着きましたが面目一新殷盛な商街となつて居りました、從前大豆等の物産は多く東支鐵道により其

の五割五分は浦鹽に、四割五分は大連に輸送されて居たのであります、哈爾賓あたり主要な所は道路も注意して居るが不行届

な所も妙なくありません、大連から星ヶ浦を經て旅順へ到る道

路は實に立派に出来て居る、嘗て山縣公爵が百萬圓餘りかけて築造されたので路線の取りやうも路面も實に氣持よく星ヶ浦は早や理想的住宅地としての聲價高く、家屋も續々建てられて居ります、白玉山や爾靈山へ自動車を馳ることも出來殊に大連市内の道路は頗る良く出来て居ります、また青島は嘗て獨逸が道路に意を注いで居た所で仲々良くなつて居ります、併かし郊外では砂煙の揚る所もないではありません、濟南はまだ改良の域に入つて居らず爲めに自動車では却て苦勞する様な状態でありました。それから天津へは相當に幅のある道路でありますけれども、路面掃除が不行届きで塵埃に腦みましたが競馬場への道は仲々立派なものであります、北京は昔と異なり鋪装道路も相當出来ましたが尙ほ掃除の點が行届かぬ感がありましたが、殊に城外の道路は塵埃高く飛んで、往時皇帝が出城を蒙塵と書いた事も、之れに依つたものなる事が想像され、城外なる無線電信局迄の不良道路に一弗半微されたやうに思ひますが頗る感じの悪い道路や橋梁でした。萬壽山でも道錢を徵せられたのであるが、道路は依然として紅塵萬丈の状態であります。

(中川理事米國視察談は自動車寢臺の長距離或は短距離による比較、自動車貯銀、時間、ガソリン等頗る複雑する所多きを以て校閲を經二月號に登掲のこととする)

北平から南京や上海の旅行豫定であります、恰かも馮玉章が兵を動かして居るので身邊危險迫るといふ程度迄とは思ひませぬが、見合はしたらと勧められ大連に戻り海路上海に参りました、上海の道路に就ては嘗て長岡理事も書かれ、また本會か

ら海外道路視察に派遣して坂本福岡縣土木課長や山本兵庫縣道路技師の視察記にもありました通り、實に適當に處理されて居るのを見ました、南京の埠場より孫逸仙の中山廣に到る二里半餘の道路は全部新式の路面鋪装に改良され南京の面目一新せるを思はしました、斯くの如く各地共に續いて道路の改良には意を用ゐて居ります、蔣介石を委員長とする民國政府最高委員會が三民（民政、民族、民權）、五憲の大精神の下に立國興業に對し道路を治める事に力を致し、次ぎに耕地の整備を勧め、次ぎに實用教育の事を定めて漸次開端進歩を見つゝある事は同文隣國の爲め喜びに堪へざる所であります、一時は革命を謳歌した支那人も今や北京城の修復をなし博物館の整備等大るに力を入れて居るのを見たのであります、北京は北平と名がかり特別市制となつて居りますが土木事業殊に道路といふことには

注意して居ると言つて居るのを聞いたのであります、五憲五院の下に各省亦此の方針で漸々追ひ日に進んで居るやうでありますから十年の後には大いに改良せられ國運の發達に寄與するに到るであらうと思ふのであります。